ビッグデータに基づくエビデンスの評価と展開

Development and Appraisal of Real-World Evidence based on Real-World Data

関連するSDGsの国際目標

人間看護学部　人間看護学科　教授　藤井　誠

研究分野　：がん疫学、周術期看護学、シミュレーション教育
研究室ＨＰ：https://www.nurse.usp.ac.jp/mhsci/index.html



概要：地域がん登録，人口動態統計，レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB），National Clinical Database（NCD）等，国内の様々な全国規模の情報を主導的立場で，様々な分野の専門職と協働し，基礎研究，臨床研究，臨床疫学，疫学的全国推計に展開し研究の幅を広げてきました．

臨床に有用な価値を還元するためには，ビッグデータを扱う情報科学や疫学・統計学の知識のみならず，医学・保健学・看護学など学際的な知識が必要です．ビッグデータ解析が世界的なトレンドとなる中で，基幹統計を真摯に守ってきた我が国のポテンシャルは高く，あらゆる分野において重要と考え，様々な分野の方々と協働しながら活動しています．

■NDBによる糖尿病性腎症重症化予防ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの効果検証

糖尿病による透析患者の増加は深刻な経済問題であり，日本を含む先進国において喫緊の政策課題である．本研究では，NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）を用い，糖尿病性腎症予防に向けた保健指導目標を明らかにし，厚生労働省が推進する糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果検証を行った．

■育児者相互で共創する妊娠・子育て支援のためのｻｲﾊﾞｰﾌｨｼﾞｶﾙｼｽﾃﾑの構築

人口動態調査速報値では出生数が70万人を割る勢いであり，子育てしやすい環境の構築は喫緊の課題である．本研究では，育児者と支援者だけでなく，育児者同士がサイバー空間上で有機的に繋がり，妊産婦や子育て中の母親の個人的な経験を他の妊産婦が活かす仕組みを構築した．

